

# 令和4年度 自己評価報告書

令和5年 3月 24日

学校法人聖尚学園 幼保連携型認定こども園 ホップこども園

## 1. 本園の教育目標

- ◎神の愛のもとで心身ともに健やかに育つ子 「あかるくげんきなこ」
- ◎心に感じて表現できる感性を持つ子 「こころをすなおにひょうげんするこ」
- ◎頑張る心と生きる力を持つ子 「すすんでがんばるこ」

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

感染症対策と、安全な保育をしっかりとしつつ、子どもの育ちのために豊かな環境を整えていく。職員間の情報共有のやり方や、働き方の観点からもよりよい環境を目指していく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	① 安心 安全 健やかな環境
取り組み状況	<p>&lt;0歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・玩具を使用後、その都度消毒ができた。食事前後の手洗、食事やおやつ後などのこまめな清掃ができた。いつもと違う様子（風邪症状、便、機嫌等）が見られたら、保護者に連絡できた。</li></ul> <p>&lt;1歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルコール消毒と電解水の使い分けをし、きめ細かな消毒ができた。換気・CO2管理では、子ども達が寒い思いをしないように工夫した。使用後の玩具はすぐ消毒。こまめな水分補給ができた。・風邪等の流行期にはより細かく清拭した。・活動に合わせ部屋を広く使い、安全にのびのびとできた。・感染拡大予防として、ソーニング保育、細かく症状を見ていった。</li><li>・上の学年との関わりが少なく、意識が持ちづらい面があった。</li><li>・おむつ交換時に人手が減る時の遊び方を充実させたい。</li></ul> <p>&lt;2歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・活動の間に清拭、手指の消毒、使用後のおもちゃの消毒ができた。・CO2計を活用しこまめな換気。窓を大きく開ける換気もした。・症状のある子は個別に見たり、すぐに相談、連絡できた。</li></ul> <p>&lt;3歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルコールと電解水の使い分けができた。・パーティションで区切って落ち着いて遊ぶ⇄外やホールで開放的に遊ぶメリハリができた。</li><li>・使用後の玩具の消毒ができた。</li></ul> <p>&lt;4歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アルコールと電解水の使い分けができた。・CO2管理、こまめな換気、手指消毒ができた。・手洗の大切さを再確認。・遊びの設定では、マットで保護やポールで仕切るなど安全をよく確認した。</li></ul> <p>&lt;5歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染対策しつつ楽しく遊ぶ工夫、園外保育（おさんぽ、パティオ 等）もできた。</li><li>・日々の健康観察で気になった場合に迅速な対応ができた。・状況に応じた感染対策ができた。</li></ul>
評価 ( A )	

	<p>&lt;給食&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として各自が体調管理をきちんとする。体調が悪い場合は無理をしない。個々のスキルをあげて休みがあった場合も調理が滞りなくできるようにする。</li> <li>・各クラスを回り、量や食べにくさ等を見つけられた。担任とも様子を話し合い、改善していく。</li> </ul> <p>&lt;看護保健&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策（防護服等）を使用し、保護者の迎えまで子どもに寄り添い、安心して過ごせるよう対応した。</li> <li>・抗原検査キットの使用マニュアルを作り、活用していくことで、安心して出勤や登園できた。</li> </ul>
評価項目	② デイリープログラムと効果的な保育日誌（記録）の見直し
<p>取り組み状況</p> <p>評価 ( A )</p>	<p>&lt;0歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週案に基づいて「活動→振り返り」のパターンを繰り返すことで子どもの成長がよくわかった。・次の遊びの展開につなげることができた。</li> </ul> <p>&lt;1歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続を大切に保育したい。日誌で日々が振り返りできた。さらに目を通す職員を増やし、共通理解を持ちたい。・週案の共有ができていたのと同じ目的を持って保育できた。・週案に保育のポイントが書いてあり、より保育がやりやすくなった。もっと全員が意識できるようにしたい。</li> </ul> <p>&lt;2歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週案をもとに楽しい活動を沢山できた。活動の進め方などが記入したのがわかりやすかった。・成長を記録することで、振り返りながら子どもと関わることができた。反省点を見つけ、次の目標を立てていきやすかった。</li> </ul> <p>&lt;3歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の現状に合ったものと育てて欲しい所を検討しながら保育に移していった。・集団での遊び、大好きな遊び、体を動かす遊びなど色々な経験をできるようにした。・日誌に子どもの様子を良く記録することができた。不安な点の共有ができた。・反省：週案は主活動終了ごとの子どもの様子を残していけばよかった。</li> </ul> <p>&lt;4歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の子どもの様子を詳しく記入し、見返したときに成長を感じることができた。・週案の制作の際、前週の振り返りを書けた。実践してみても子ども達の反応や遊び方も記録に残すことで次週の計画や遊びの展開につながった。保育の事前準備を協力して行えた。子どもたちの好きな遊びや関心を把握でき、沢山楽しめるように工夫できた。</li> </ul> <p>&lt;5歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育記録に残す、学年内での共有、他学年との共有できた。・日誌や週案などで、見通しを持って、子どもの様子に合わせた環境設定、安全対策、保育の準備ができてよかった。・反省点は、週案にみんなの声がうまく組み込めたかわからない。・日々の子どもの姿を共有し、足並みをそろえて保育できた。相談もでき、チームワークよくできた。</li> </ul> <p>&lt;給食&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立によって、食べる速さや残食量が違っているのを把握する。食べるのが早い丼物、カレーなどは噛み応えのある副菜をつけたり、残食が多いものは食材を見直す。毎日の給食量を献立台帳に記入し、振替られるようにした。</li> </ul> <p>&lt;保健・看護&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護日誌をつくり、日々の様子や早退した園児を記入していくようにした。いつでも振り返ることができ良かったので今後も継続していく</li> </ul>
評価項目	③ 一人ひとりの思いを大切にする。子どもの人権を尊重したかわり
	<p>&lt;0歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の保育教諭で個別に保育することができた。時には一対一でゆったり過ごせた。・気持ちを受け止め、できるようになったことを一緒に喜びることができた。・抱っこやスキンシップを通して安心感、愛着関係が築けた。・一人ひとりのしぐさをよく見て、指さしや喃語で伝えよう</li> </ul>

<p>取り組み状況</p> <p>評価 ( A )</p>	<p>としていることを大切にしたい。・プライバシーや子どもの人権をこれからも意識していく。</p> <p>&lt;1歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いを代弁することで気持ちを尊重できた。成長、発達に応じて、寄り添い方を考える必要がある。・発達に合わせ、一人ひとりに合わせた関わりができた。・言葉にして伝えることができなくても、保育者が気持ちを代弁することで、伝えられるようになるので、意識して言葉がけをした。・子どもの「やりたい」という思いを尊重し、頑張っている姿を見守り、必要な時は援助できた。・日々かわいいと感じ、子どもの思いを受け止め共感した。</li> <li>・体調不良児がいた際は別室での活動食事ができた。</li> </ul> <p>&lt;2歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の声を大切にしたいことを実現することができた。活動に乗れない時には一対一で寄り添うことができた。・子どもの気持ちを汲み取った声掛けや関わり方で保育できた。・人権配慮のセルフチェックで改めて自分の保育について考えられた。・トイレトレーニングは子どもが自分でやりたいと思う気持ちを大切に個人のペースに合わせてできた。沢山褒め、無理せず進められてよかった。</li> </ul> <p>&lt;3歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの良い面を沢山見つけて、プラスにとらえた声掛けを工夫した。・一人ひとりの話を聞いて一人ひとり関わることを意識していたが、対応にゆとりが無くなることがあった。しだいにゆったりと対応できるようになった。保育の振り返り記録を残し、毎日意識できた。</li> </ul> <p>&lt;4歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言動の一つ一つを大切に受け止め、すぐに応えられるように関わった。子どもの個性を理解し、その子のために思った言葉がけや援助を行ってきたが、子どもにとってショックなこともあったようで反省した。より伝え方に工夫をしたい。・頑張りを認め、やる気につながるような言葉がけを行った。喜びを共感し、やりたい気持ちを大切に、できるように導いた。</li> </ul> <p>&lt;5歳児&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いを遊びに組み込めた。・保護者や子どもの不安の解決に努め、時間をかけて見守れた。・子ども同士のやり取りの中で、悲しい思いをした子への対応が後手になったことがあった。・出来事や言葉の受け止め方は人それぞれ、個々に合わせた対応の大切さを意識した。</li> <li>・「自由」とはどういうことか考え、難しかったが、やりたいこととルールバランスを取って自主的に活動できるようにした。・就学に向け、「自分でやってみる」「協力する」「遊びの発展」を考え、徐々に主体は子どもで保育者はサポーターだという意識でいられるようにした。・「先生はいつも見守っていてくれる」「(アドバイス通りに)挑戦してみよう」という思いが出て、信頼感が増した。</li> </ul> <p>&lt;給食&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が給食を食べている姿を見に行き、関わる時間を増やすことで個々の食事量や苦手なもの、食べ方を知ることができた。</li> </ul> <p>&lt;看護・保健&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染の自宅待機などの電話では、傾聴を心がけ、言葉や伝え方に気をつけた。→概ね理解や感謝で受け取られたが、場合によっては待機期間が長くなり、不満や不安などを訴えられることもあった。今後も丁寧に対応していく。</li> <li>・0, 1歳児では、無理をすると悪化や入院につながるため、発熱だけではなく、咳、鼻水などの症状が強い時はお休みしたほうが良いと伝えた。・症状の出始め、様子が違うときは、担任から連絡帳や口頭、電話連絡をした。これからも担任と相談しながら対応したい。</li> </ul>
-----------------------------------	--

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>評価項目：①安心安全健やかな環境 ②デイリープログラムと保育日誌(記録)の見直し ③一人ひとりの思いを大切に、子どもの人権を尊重する</p> <p>園内自己評価:感染症対策に留意しつつ、のびのびと過ごせるよう工夫があった。日々の保育の振り返りにより、日々成長するこどもにあった保育をしようと取り組んでいた。一人ひとりに対してできるだけ寄り添う保育、個々に応じた保育をしようと取り組んでいた。</p>

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安心、安全、健やかな環境	引き続き感染症対策をしながらも、遊びや行事を通して、健やかな成長がみられるように工夫していく。複数担任を危機管理や個に寄り添う保育に活かしていく
2	一人ひとりの思いを大切に、子どもの人権を尊重した保育	子どもの人権について意識をより高め、保育の仕方や声の掛け方など、日々価値観をアップデートしていく。
3	保育のスキルアップ	「今日の保育の質シート」や日誌を活用し、日々丁寧に保育や記録をすることで、子どもからも保護者からも信頼される園を目指す。

#### 6.来年度重点的に取り組む目標・計画(案)

「どの子どもも楽しい、おもしろいこども園」

子どもファーストに、子どもが心地よくいられる園を目指す。今、ここにいる子どもを大切にして、臨機応変に保育していく。

#### 7.学校関係者評価委員会の評価

<保護者代表 父母の会役員の皆様から> (R5年 2月21日、3月3日)

安心、安全に配慮しながらも、お散歩などの活動をしてもらって嬉しかった。鼻水のため、雪遊びがしたくてもできない時に、子どもの思いを先生が仲介し、気持ちを調整出来てありがたかった。心が揺らぐ時期も、先生に対応してもらい、寄り添ってもらえた。温かい保育がありがたい。

園での姿を連絡ノートで教えてもらい、家とは違うところが知れて嬉しい。家では食事に関して甘くなるが、園の給食では上手く食べられたと報告してくれた。最近字を読むこと、書くことにやる気ができてきている。園でも進めてきていたおかげだと思っている。家庭ではできない指導などをしてもらい感謝している。子どもをかわいいと書いてあって嬉しかった。

職員が一生懸命に細かく見てくれていて、安心だし嬉しい。連絡ノートに不安なことを書くと、安心できる返事が来る。どの職員も明るく迎えてくれる。父母の会役員についても変更があってよかった。この園を選んでよかったと思う。

職員の対応がよく、いやな思いはしたことがない。我が子は人見知りだが、みんなの前で発表したことを話してくれるので、自信がついているようで安心。父母の会役員も大変さを感じていたが、みんなで協力していく方向になりよかった。

<地域の方代表 理事、評議員の皆様から> (R5年 3月 22日)

- 大人の世界はコンプライアンスでできているが、子どもの世界はコンプライアンスで固めず、その子らしさを大切にしていってほしい。
- 寄り添った保育の評価はAで、これ以上望むことないくらいだが、終わりがないところが教育、保育なのだろうと思う。安心して通わせられるのではないかな。
- 園に入り、実際に園に来て、子どもや保護者と地域の人として触れ合う機会があるといい。外部との交流ができればよいのかもしれない。
- 沢山の職員がいるがまとまっている。一人ひとりに寄り添っていることが講師としてわかる。園での姿と家での姿は違うが、信頼関係が築けているようだ。